

令和4年度 超顕微解析研究センター共同利用につきまして

令和4年4月11日

日頃から超顕微解析研究センターの活動にご支援を頂きお礼を申し上げます。
九州大学では、4月8日より、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえた行動指針が「1.5(一部制限)」に引き下げられました。これを受けて、本センターでもこれまでの制限を一部緩和いたします。一方で、課題申請書の皆様には引き続き三密の回避等、十分な感染防止対策のもとでの共同利用をお願いする形となります。つきましては、下記の内容についてご理解・ご協力を頂きたく、お願い申し上げます。また、本件の研究室内での周知をお願い致します。

利用形態について

- 密閉空間での複数人による長時間作業を回避するため、できるだけ最少人数でのご利用をお願いいたします。
- 初心者の方は、研究室の先輩など熟達者にご利用ください。難しい場合は事前にご相談ください。
- スタッフによる必要なサポートは再開いたしますが、できるだけ短時間でサポートとさせていただきます。また、実験室内での「密」を避けるため、サポート実施の際の入室は2名までとさせていただきます（当センターのスタッフを含め3名まで）。2名以上の場合は交互に入室いただくなど研究室内でご調整ください。

予約の方法及び決定・通知について

- 一週間前の月曜午前10時までに、HPの予約フォームよりお申込み下さい。その際に、コメント欄に入室される方全員のお名前(学外者の場合はご所属も)をご記入ください。
- マシントイム決定後の追加予約についても予約フォームのみで受け付けます。追加予約の場合も第三希望までの入力と、コメント欄にセンターに入室する方の氏名と身分を必ずご記入ください。

研修会について

令和4年度も感染拡大防止対策の一環として、短縮した形式での研修会を継続いたします。当センターのご利用を希望される方は手引・基礎コースの受講が必須となります。また、令和4年度は応用コースも開催予定です。各自の研究テーマ、装置利用計画に合わせて受講されることをお勧めいたします。詳細はHPにて随時更新しておりますのでご確認ください。

超顕微解析研究センター センター長
" 主任
" 事務

村上 恭和
安田 和弘
山下 佳那子

(hvem_office@hvem.kyushu-u.ac.jp)

【重要】感染防止にむけたご協力のお願い

※装置の利用前後に、手洗いや館内に設置したアルコールでの消毒を毎度実施して下さい。

また装置利用時もマスクの着用を心掛けて下さい。

※微熱や風邪の症状がある場合はセンターの利用をお控えください。